

# hand in hand

秋田県立大曲養護学校  
地域支援部報 No.6  
平成28年2月29日発行

## 地域支援文庫「hand in hand books」新しい本が加わりました

地域支援文庫に新たに 32 冊の本が加わりました。大曲仙北美郷地域の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校で幼児児童生徒の指導に当たられている方々であれば、どなたでも利用できます。本は大曲養護学校の職員室にあり、随時閲覧することができます。来校前に電話でお知らせください。是非、御活用ください。

☆**図書の一部を紹介します**☆（「図書一覧」「利用のしおり」は、本校ホームページを御覧ください。）

8つの視点でうまくいく！発達障害のある子のABAケーススタディアセスメントからアプローチへつなぐコツ	井上雅彦
教室でできる特別支援教育のアイデア 中学校・高等学校編	月森久江
教室でできる特別支援教育のアイデア 小学校編 パート2	月森久江
発達障害がある子の「行動問題」解決ケーススタディやさしく学べる応用行動分析学	小笠原恵
通常学級ユニバーサルデザインⅡ	佐藤慎二
特別支援教育のとおき授業レシピ	藤原義博
発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ	Shizu 平岩幹男
気づいて・育てる発達障害の完全ガイド総合版	黒澤礼子
発達障害の子の立ち直り方「レジリエンス」を育てる本	藤野 博
特別支援教育サポート事典「子どもの困った」に対応する99の実例	笹森洋樹
発達が気になる子のための自立・就労トレーニング	田中和代 野村将広

## ☆図書の紹介☆



インクルーシブ教育システム時代の  
『ことばの指導』コミュニケーション能力の向上を目指して  
編・著・全国特別支援学校知的障害教育校長会

ことばは生活のあらゆる場面で重要な役割を担っています。自分の要求の伝達、周囲との意志の疎通など、コミュニケーションの主要な手段です。この本は子どもの言語能力の発達のために、特別支援学校などで取り組むための指導の理論や実践事例をまとめたものです。全国の学校の実践事例が多数取り上げられています。

- 【主な目次】 第1章 発達が遅い子どもへのアプローチ  
第2章 毎日できる、楽しい口腔トレーニング  
第3章 ことばの発達を支えるさまざまな代替手段とその活用  
第4章 社会性のあることばを育てる  
第5章 ことばをとおして働く力を育てる。  
第6章 ユニバーサルデザインが紡ぎ出すインクルーシブ教育システム



## 大曲養護学校相談窓口

秋田県立大曲養護学校 TEL：0187-68-4123

教 頭：高橋 貢 地域支援部主任：栗谷川美和子  
教育専門監：鎌田 誠 特別支援教育アドバイザー：岩田 智子  
(大仙市立花館小学校)

せんぼく分教室 TEL：0187-42-8568

教 頭：松井 克彦 地域支援部：菅原咲希子



## 保護者の思いに寄り添った相談を・・

保育園や学校を訪問すると、よく担任の先生や管理職の先生から「学校（園）ではこんなに困っているのに親が分かってくれなくて・・」というような話を聞くことがあります。担任の先生が保護者の方と面談した際、保護者は次のような言葉を話していたそうです。

- ・子どものことはよく分かっています。他の人から繰り返し何度も言われたくないんです。
- ・家ではそんな様子は見られません。言われていることが理解できません。
- ・多少落ち着きがないとは思っています。でも、それが障害なんですか。
- ・前の先生のとときはよかったのに・・
- ・〇〇病院の〇〇先生は「問題ない」と言っていました・・



保育園や学校では「なんとかしたい」という思いから保護者に「理解」を促そうとするのですが、なかなか分かってもらえないようです。

そこで今回は、保護者の方と面談するときのポイントについて考えてみたいと思います。

### 保護者と面談する際のポイント

#### 【面談の前に・・】

- 面談の目的、同席するメンバー、終了予定時刻などについて伝え了承を得る。
- 話しやすい環境をつくる。→ 部屋の広さ、明るさ、お茶やお花の用意
- 複数で対応するため、面談の流れや方向性、役割分担について確認しておく。

#### 【面談中に・・】

- 保護者と考えが違うということを前提に、少しでも話がかみ合う部分をさがす。
- 子どものよいところ、がんばっていること等を伝え、まず子どもをほめる。
- うなずく、相づちをうつ、相手の表情に合わせる等、共感的な態度で相手の話を聞く。
- 情報提供はするが結論を急がない。求めない。→ 選択するのは保護者
- 保護者からの質問に、分からないときや曖昧なときは答えを控える。後日、調べてはっきりしたことを伝える。
- 記録をとらない。
- 相手の変化を見抜く。→ 声が大きくなった・小さくなった。話すテンポが速くなった・遅くなった。表情が明るくなった・暗くなった。身を乗り出してきた。・・

#### 【面談の後に・・】

- 面談の内容、保護者の態度などについて、整理して記録しておく。
- 必要な場合、面談中に曖昧にしてしまったことを調べて、はっきりしたことを伝える。
- 面談後の子どもや保護者の変化をよく見る。



※秋田県立養護学校天王みどり学園 教育専門監 加賀谷 勝 先生発行  
「特別支援教育専門監通信No. 24 チャンス・チャレンジ・チェンジ」より  
一部引用させていただきました。

#### まとめ

保護者に「理解」を促すためには、保護者の心情や立場を理解しなければならない。  
「理解」は双方向。保護者に対して一方的に「理解」を求めてはいけない。